

全財務局 管内経済情勢報告

	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回との 基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	新型コロナウイルス感染症や、供給面での制約、原材料価格高騰の影響が引き続きみられるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約や原材料価格高騰の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。
財務局名	前回（4年4月判断）	今回（4年7月判断）	前回との 基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	新型コロナウイルス感染症や供給面での制約、原材料価格上昇の影響がみられるなか、二進一退の状況にある	緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。観光は、感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
東北	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが通信機器向けなどで好調となっているほか、生産用機械が海外の設備投資需要を背景に高水準となっているなど、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。
関東	新型コロナウイルス感染症や、供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、スーパー販売額、家電販売額などが前年を下回っている一方で、百貨店販売額、コンビニエンスストア販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスは持ち直しており、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響がみられるなか、生産用機械などが増加しているものの、電気機械が減少しているなど、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、持ち直している。
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっており、百貨店・スーパー販売が持ち直しつつあることから、全体では持ち直しつつある。生産活動は、生産用機械が拡大に向けた動きがみられるものの、電子部品・デバイス及び化学が持ち直しつつあることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
東海	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している	緩やかに回復している	➡	個人消費は、一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、外出機会の増加に伴い、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響があり、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
中国	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
四国	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある	➡	個人消費は、スーパーに需要がみられる中で、コンビニエンスストア、百貨店、観光等が持ち直しつつあることから、全体としては持ち直しつつある。生産活動は、食料品や繊維・土石が持ち直しつつあるものの、電気機械が足踏みの状況にあることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直しつつある。
九州	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売やコンビニエンスストア販売が持ち直しているほか、宿泊などサービス消費に持ち直しの動きがみられることから、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響がみられるなか、電子部品・デバイスや汎用・生産用・業務用機械が高水準で推移していることから、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しつつある。
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、外出機会の増加などから、消費者マインドの回復傾向がみられるものの、観光は、感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しつつある。

(注) ※ 4年7月判断は、前回4月判断以降、7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断。
※ 下線部が基調判断。